



明倫の里 城北

ともしび

発行・城北コミュニティ 丸亀市御供所町一丁目5番20号
城北コミュニティセンター「明倫」☎25-2141

城北地区人口

世帯数	2,903 (-2)
人口	6,459人(-10)
男性	2,988人(-5)
女性	3,471人(-5)

(平成24年9月1日現在)

(カッコ内は平成24年6月1日比)

楽しもう みんなで

「ほくほくふれあいまつり」も今回で16回をかぞえ、10月7日(日)、午前9時から午後3時まで、城北小学校の運動場と体育館の会場で開催されます。

運動場では、「親子でムカデ」、「ゲタとぼし」など、子どもからお年寄りまでみんな揃って楽しめる競技が組まれています。会場のまわりでは、美味しいものバザーの出店があ

り、体育館会場では、保育所・幼稚園児、城北小児童全員の作品展が展示されます。昨年好評だった「血管老化度測定」をはじめ、体験型スペースも充実しました。毎回人気の「明倫くじ」は今年も午後0時15分から発売します。詳しい競技種目、展示内容、その他は近くご家庭に配布する「ほくほくふれあいまつり」のプログラムをご覧ください。

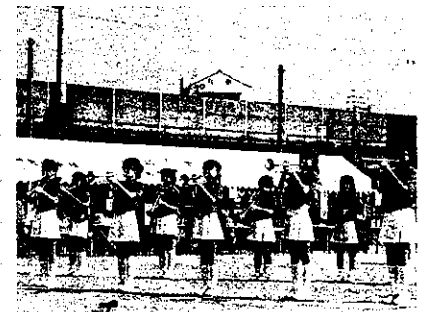


昨年のふれあいまつりから

第16回

ほくほくふれあいまつり

♥10月7日・城北小♥



昨年のふれあいまつりから

児童の通学路安全対策

新井市長がコミュニティに出掛け、地域の課題などを話し合う「城北コミュニティセンター市長室」が7月19日午後開かれました。城北コミュニティ役員ら19人が出席。地元からの要望に市長が答える形式で会は進められました。この中で、富士見町二丁目、丸亀市漁業協同組合事務所付近の通学路安全対策が課題として取り上げられました。同交差点は変形の三差路で、陸橋が設けられています。

南方向からの車の大部分は、緩いカーブの右側へ向かいます。今年2月20日、近くの浜街道がルート変更になった影響で最近では直進車両が増えました。陸橋昇降口で児童が道

路に出た際の安全性が指摘されてきました。

市建設課では、これまで児童が道路に出ないで陸橋昇降口を利用できる方策やポール設置などを行ってきましたが、「市長室」で一層の安全対策が求められたものです。

8月18日には、市教委、城北小学校、丸亀署、道路管理者(市建設課)の関係者が現地で安全点検を行いました。その結果、早急対策として道路上に右折と直進の矢印を表記、方向指示器作動の徹底を訴えることを決めました。

この日の安全点検はこのほか、明倫センター北側交差点、土居町二丁目の直井製菓北側交差点など3カ所でも行われました。



富士見町漁業協同組合前陸橋



城北が県代表で発表

中国・四国地区防犯ボランティアフォーラム

中国・四国地区の防犯ボランティアフォーラムが活動内容などを話し合うブロック別防犯ボランティアフォーラム（警察庁主催）が6月16日岡山市北区の岡山コンベンションセンターで開かれ、城北防犯パトロール隊が「みんなで楽しく『ちよこボラ』しよう」のテーマで活動の足跡や課題などを発表しました。

同フォーラムには城北防犯パトロール隊を含め、各県代表の9グループが出席。団体・組織の母体はコミュニティ、自治会、学校、学生など。高校ラグビー部OB（徳島県）という異色グループもありました。城北防犯パトロール隊の発表は近藤照司・事務局長が行い、有岡俊文・城北小教頭がプロジェクト操作を担当しました。近藤事務局長は今後の課題として①継続した活動の展開②まち全体の安全を考えた取り組みなどを強調しました。

また、防犯エコバックを隊

員たちが日常持ち歩くことで「見える防犯」として役立っている、と報告しましたが、来賓の時岡晴美・香川大学教育学部教授から「活動の可視化は大切なこと」と評価されました。

城北防犯パトロール隊 総会 & マイ箸作り

8月18日に、コミュニティセンターで、城北防犯パトロール隊総会が開かれ、警察・市・城北小などの関係者49人が参加しました。

細谷達則隊長が退任され、新隊長に鈴木巖さんが就任しました。



恒例の総会

その後、「お箸の正しい使い方について」の講演が細井聡さんよりあり、29人が「マイ箸作り」にチャレンジしま

した。小学5年生の野沢和暉君も参加し、一生懸命マイ箸を作る姿も見られ、参加者は子どものように目をキラキラ輝かせて満足そうに、個性豊かなお箸を作りました。さて、このマイ箸でどんな料理を食べるのかな？



つくったお箸

御供所町で百万遍数珠送り

御供所町の木里（きさと）神社で8月4日、地域の皆さんや子どもたち約40人が参加して、無病息災などを願う「百万遍数珠送り」の行事がありました。

地域の皆さんは、それぞれの手元に回ってきた数珠に念仏を唱えながら、家族の健康や安全などを祈願していました。この後、児童公園に移動し、手作りのローソクで星形「絆」の文字を作り、一本一本に明かりをとしました。「絆」は、子どもたちが仲間や家族、地域の人たちへの思いから決めました。夏の夜

のひとときを過ごした皆さんは、地域の「絆」を強く感じたとよかったです。



無病息災を願って

ゴーヤを食べつくそう！

8月4日に城北コミュニティセンターで、ゴーヤを使った料理作りが開かれ、35人が参加しました。

「厳しい夏の暑さに負けなぞい」と、皆さん自慢の腕をふるい、油揚げ入りチャンプルや、天ぷら、シーチキンのあえ物などの料理に取り組みました。和気あいあいとした雰囲気の中、美味しいゴーヤ料理が出来ると、参加した人たちは早くも、「来年のゴーヤ料理は、こういうのを作ったらどうかかな？」という声も聞かれました。また、各家庭で緑のカーテ

ン作りに取り組んでいる方々から、沢山のゴーヤを頂きありがとうございました。ご協力本当にありがとうございました。

健康相談

健康相談の時に骨密度測定をしています。

10月12日（妙見宮） 風袋・瓦・米屋・松屋・魚屋・宗古・葎町
11月（高木神社） 土居町二丁目大手町
12月（明倫センター） 御供所町

城北地区の人なら町外の人も歓迎します。日時は明倫センター玄関に案内を張り、お知らせします。詳しくは明倫センターへ（保健部）

土器川潮止堰 サイレンについて

土器川の蓬萊橋上流に潮止堰が設置されています。洪水時に水の流れをよくするため、自動で収縮し倒れる構造になっており、堰に貯った水が一気に流れ出し、下流の水量が急増するので、サイレンでお知らせします。

アナウンス——— 休止——— 休止———
約1分 約5秒 約1分 約5秒 約1分
でサイレンが鳴ります。

城北コミュニティ

人材バンク登録のお願い

当校区内を対象に、人材バンクを創ることになりました。目的は当校区内の文化・芸術・教育・スポーツ面の向上に役立てるためです。

皆さんがご持ちの特技・趣味・資格等を登録いただき、当校区内で活用させていただきたいと思っております。

ひいては、我々の街のコミュニティ活動の活性化につながればと思います。

登録方法

- 一、事務局にて登録
- 二、自治会ルートで登録

笑顔あふれて和やかに

城北地区敬老会開く

城北地区敬老会（丸亀市・城北婦人会主催）が9月15日城北小学校体育館で開かれました。招待者のなかには、「おおい元気があったか」と、再会を喜ぶ姿も見られ、周りの人たちも笑顔誘われていました。来賓の祝辞のあとは恒例になった小学生から長寿の祝福の手紙が手渡され、「っこり」。アトラクションでは、土居保



血流がよくなったね

育所幼児のかわいい挨拶や歌、踊りなどで元気をもらい、また体育館の壁には敬老にちなんだポスターも展示され、会場全体が和やかな笑顔にあふれ、老若のつながりが引きつがれている敬老会でした。

今年度の城北地区招待者（75歳以上）は、1176人（男性411人、女性765人）で、このうち約170人が式に出席。

玄米ニギニギ体操

保健部会で24日玄米ダンベルを作成しました。玄米300gを計る人、袋に入れる人、その口を縫う人皆一生懸命に仕事をしました。28日岩田理香先生を迎えて、53人がカラフルなダンベルを選んで椅子に座って体操をしました。最



小学生から長寿を祝う手紙をもらうお年寄り

地区最高齢者は、104歳の平尾トクエさん（城東町二丁目）です。

初に玄米ニギニギ体操のいわれを聞きました。1999年に鈴木正成先生が高齢者にも無理なく使えるように工夫、開発された手作りのダンベル体操です。その後、寝たきり防止や認知症予防等健康長寿体操として全国に広がりました。ダンベルの凹みの粒々が指に当たって脳に当たり活性化に役立ちます。血行やリンパの流れ、血糖値・血圧の安定等永く続けていたら効果の出る体操です。でもダンベルを持つて転がすのが難しかったです。皆ダンベルを扱っているうちに汗がにじんで、体がぼかぼかしてきました。

（保健部会）

城北コミュニティ

室内ペタンク大会

7月22日に、城北小学校体育館に於いて、室内ペタンク大会が開催されました。

室内ペタンクは、緻密な作戦により、ゲームを組み立てる知的なスポーツでもありません。ルールが簡単でわかりやすい、しかし、やればやるほど奥が深い生涯スポーツの決定版です。

今回、老若男女の12チームの精鋭が、予選、決勝リーグを行い、左記のような結果になりました。



熱き闘志を秘めて！

- 優勝 老人会Cチーム（金沢、紺谷、伊藤）
- 準優勝 ミッチャキチーム
- 第3位 リッキーチーム
- 第4位 老人会Bチーム

（体育部）

第25回いきいき講座のご案内

日時	11月22日(木) 13時30分～15時
場所	明倫センター講座室
内容	歌って楽しく学ぼう！ 悪質商法
講師	県消費生活センター 委嘱講師（未定）

多数の参加者を願っています。

39才以下の部

- ・卓球女子
- ・バドミントン女子
- ・準優勝
- ・卓球男子
- ・ソフトテニス女子
- ・ペタンクBチーム
- ・バレーボール女子

開催中の第57回丸亀市民体育祭における城北チームの成績をお知らせします。

優勝

学園の現場から

丸亀市立東中学校

校長 金丸 真明

この夏休みに、初めての取り組みとして、東中学生徒会と校区4小学校の児童会による東学校群小中リーダー研修会を本校で行いました。

東学校群の目標である「あいさつ、返事、正しいことばづかい」の取り組みを中心に各校の実践の様子を発表したり、グループに分かれて話し合ったりしました。例えば、城北小学校児童会のみなさんは、寸劇で楽しく取り組みの様子を発表してくれました。どの子もハキハキと大きな声で堂々と演技できていました。各小学校の工夫ある元気な



発表は、小学生同士はもちろん、中学生にとっても大きな刺激になったようです。

中学生の感想です。

「中学生もまだまだできることがあるなあと感じた。小学生にはできていても、中学生にできていないこともありました」

初めての東学校群小中リーダー研修会

また、「中学生がリーダーとしてくれて、やりやすかった。今日の事を持ち帰り、下級生の手本になれるよう、もつとがんばっていきたい」という小学生の感想に見られるように、この研修会を通して、リーダーとしての自覚がいつそう高まった人がたくさんいたようです。

学校を超え、小中を超えて、子どもたちが笑顔で生き生きと交流する姿が心に残ったりリーダー研修会でした。

これからも東学校群の子どもたちが仲間意識を持って日々の学校生活をがんばるとともに、東中生が東学校群全体のリーダーとして自覚を高めていければいいなあと感じた一日でした。

記念日歳時記 電気・水道・ガス

私たちの住む地域では、このところライプラインに影響をもちたらす災害はありません。安心な暮らしが続けられており、幸いなことです。さきごろ南海トラフ地震新想定が公表されましたが、内容は驚くべきものです。

今回もライプラインの起源を訪ねます。(K)

◆電気—ランプから解放

丸亀に初めて電灯がともったのは明治36年7月のこと。民間電灯会社の讃岐電気による供給で、丸亀のほか



丸亀市現在（丸亀市一丁目土居町）に建設されたもので、丸亀市水道創設時に「まるがめ水道」からのも稼働している。

か多度津、善通寺、琴平でも同時に電気が通じました。住民は、江戸時代のあるどん、明治時代のランプから解放されて電灯生活を味わうことになりました。讃岐電気は、仲多度郡竜川村（のちの善通寺市金蔵寺町）に本社と発電所を設置。丸亀市中府町に丸亀配電所を設け、サービスに努めました。

丸亀の島々は、長い間、自

家発電による電灯生活が続きました。深夜や昼間に電気が使えないなどの不便な生活を送ってきました。昭和40年に丸亀離島電気事業推進協議会が設けられてから島々に電気が送られるようになりました。

◆水道—計画から36年目に実現
丸亀市民が初めて水道水を口にしたのは大正15年10月のこと。明治23年8月、町制を機に大塚一格初代町長が「上水道設置要望」

を知らしめ、市民の協力を得てから36年かかっただけで、当初は市民約6千世帯のうち、約半数が水道の恩恵を受けました。

「丸亀は昔から水質が悪く飲料水に適するところが少なかった」といわれてきました。人口の増加による衛生、保安、産業上から水道の布設が緊急の課題となっていました。

◆ガス—四国の先進地
明治45年5月、四国瓦斯丸亀出張所が設けられ、ガスの供給が始まりました。この四国瓦斯は現存の四国ガスとは

別会社です。四国各地のガス供給開始は高松明治44年7月、松山同45年1月、高知大正元年12月、徳島同4年10月。丸亀はガス事業の先進地です。工場の選定では御供所と塩屋の2カ所に意見が分かれましたが、塩屋に決まりました。ガスは熱用よりも、もっぱら灯用。その灯用も電灯の普及に押され減少する一方でした。

◎主な参考資料 丸亀市史、香川県大百科事典、四国電力社史、四国ガス80年史、まるがめ水道

あとがき

店には、ブドウやナシ、松茸、秋刀魚など秋の味覚が次々と登場し、「暑い、暑い」と言いながらも、季節の移ろいを感じます。

店先に並べられる旬の食材の品種や産地の変化から日本の四季を感じるのも面白い物の楽しみです。自然の恵みをおいしく頂きながら長く厳しかった夏の疲れを癒し、体力向上を図りたいものです。食欲の秋、運動の秋、ほくほくふれあいまつりでも、いろいろな秋をお楽しみください。(橋本)